

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	日系静脈産業メジャーの育成・海外展開促進事業		担当部署	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	循環型社会推進室		室長 中尾 豊		
会計区分	一般会計		施策名	4-1 国内及び国際的な循環型社会の構築				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	循環型社会形成推進基本法(平成十二年六月二日法律第百十号)第三十一条…『国際的協調のための措置』		関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画第5章『国の取組』第3節『海外との関係における資源循環』、3Rイニシアティブ				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国静脈産業の先進的な廃棄物処理・リサイクル技術を循環型社会の構築のための制度とパッケージとして海外展開することにより、世界規模で環境負荷を低減し、我が国経済の活性化につなげる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国静脈産業による廃棄物処理・リサイクル分野における具体的な海外展開の計画のある事業を公募し、有識者からなる専門家会合において審査を経て選定された案件について、事業化促進のために以下の支援を行う。 ・海外展開計画事業の実現可能性調査(新規採択分) 事業計画書の作成、廃棄物の組成・性状等調査、事業性・環境負荷削減効果評価等を内容とする実現可能性調査の実施を支援する。 ・関係者合同ワークショップの開催(新規採択分) 日本側の関係者と現地の関係者との間で、海外展開事業推進に向けて情報共有・意見交換を行う「関係者合同ワークショップ」の開催を支援する。 ・現地関係者の能力開発事業(新規採択分) 海外展開事業の実施を促進するため、現地の行政当局の政策担当者等の関係者への研修を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	200
		補正予算	—	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—	—
		計	—	—	—	—	—	200
	執行額	—	—	—	—	—	—	—
	執行率(%)	—	—	—	—	—	—	—
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	循環型社会ビジネスの市場規模を平成27年度を目標に平成12年度比で約2倍とすることを目標とする。			%	—	—	—	—
	達成度		%	—	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	24年度活動見込
	・実現可能性調査実施数			実現可能性調査実施数	—	—	—	—
				(7)	—	—	—	(7)
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	—	200	24年度新規事業				
	計	—	200					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～において、『グリーン・イノベーションによる成長とそれを支える資源確保の推進』や『日本の「安心・安全」等の技術のアジアそして世界への普及』が掲げられおり、それに基づき実施するため優先度が高く、国が積極的に実施すべき事業である。</p> <p>また、支出先の選定にあたっては、有識者で構成された専門家会合による書類選考、ヒアリング審査を行い、採択事業を決定する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>新成長戦略において掲げられており、静脈産業メジャーの育成と海外への展開を促進することにより、日本の静脈産業を発展に資するものであり、事業の必要性は認めるが、執行の際は効率的に務めること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					